

# 令和2年7月豪雨

## 管内各所で被災

梅雨前線の影響により九州では大雨による甚大な被害が発生しました。飛騨地方も前線の影響を受け、7月8日午前5時頃、増水した飛騨川の濁流により国道41号は下呂市小坂町門坂地内において約500m崩落するという過去に例を見ない大災害となりました。また、管内数力所で土砂流入や道路冠水などにより通行止めを余儀なくされました。このような大災害にもかかわらず、人命に被害が及ぶことが無かったことは幸いでした。



被災現場を視察される赤羽国土交通大臣（中央左）と古田岐阜県知事（中央右）



被災現場を視察される御法川国土交通副大臣（写真右）と佐々木国土交通政務官（写真左）

# 応急復旧工事状況

大雨の峠が過ぎた7月10日より復旧工事を開始。まずは不通となっていたJ R高山線の復旧を最優先に保全工事を行いました。連日24時間の復旧作業により、7月23日にJ R高山線は全線復旧できました。

[被災状況] 鉄道の基礎が露出

7/16よりモルタル吹付等作業開始

7/21 J Rが試験走行し、7/23に全線復旧



その後、片側交互通行による交通開放を目指し、『瀬替え』工事による工事用道路の施工に取りかかるも、完成間近の7月25日に再び大雨が降り一部が流失。懸命の作業により、8月4日に完成しました。

『瀬替え』工事着手

7/25の大雨により一部流失

8/4 工事用道路完成



完成した工事用道路を利用して、被災状況に合わせた復旧作業を実施。この間は大雨もなく、順調に作業することができました。実は、7月25日から大雨の間に、5箇所の作業ヤードを確保し、そこで大型土嚢を製作していました。これにより大幅に工期の短縮が図れました。今回の復旧に使用した大型土嚢は、なんと…、**5200袋**です！

高山側：鉄板型枠設置、コンクリート流込

下呂側：大型土嚢積9段積に間詰めコンクリート施工



舗装の施工が終わると地下部分に空洞が無いか、道路路面の陥没や隆起等が無い計測車両（MMS（モービル マッピング システム））を走らせて点検します。異状を発見したらその箇所の補修を行い、安全が確認されるまで徹底的に調査と補修を繰り返します。

空洞探査車によるレーダー探査



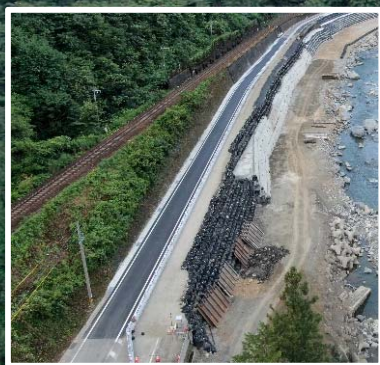
異状を発見したら補修



MMSによる路面性状調査



7月8日の災害発生から約1ヶ月、当初完成目標としていた8月末よりも2週間早く応急復旧工事は完了し、**8月17日午前7時**に片側交互通行による交通開放となりました。まだ本復旧までは時間がかかりますが『早期完全復旧』を目指して頑張りますので、今後ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。



地域の高校生の二学期開始前の交通開放に何とか間に合いました！ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。



## 災害復旧工事関係のみなさま 昼夜の作業ありがとう

道の駅 飛騨街道なぎさ

現場近くでいただいた写真のような言葉やtwitterへの書き込みなど多くの言葉に励まされたことで、職員及び現場作業員は約1ヶ月という短期間で、応急復旧の完了につながられたと思います。これまで応援、ご協力いただきました皆さまありがとうございました。

また、今回の復旧工事に携わった関係者の皆さま、本当にお疲れ様でした。

そして、ありがとうございました



# 管内被災状況

飛騨川氾濫により道路崩落  
(下呂市小坂町門坂)



土砂流入及び冠水  
(高山市一之宮町)



土砂流入  
(高山市久々野町長淀)



土砂流入  
(下呂市小坂町大垣内)



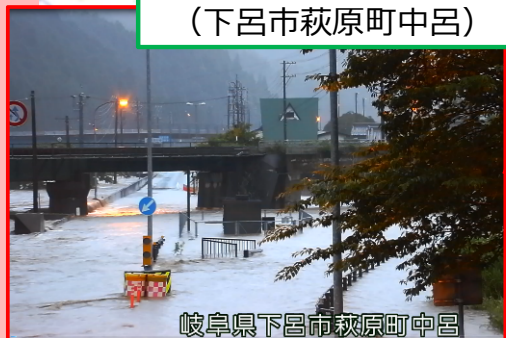
山腹崩落による土砂流入  
(下呂市萩原町奥田洞)



土砂流入  
(下呂市小坂町坂下)



飛騨川氾濫による冠水  
(下呂市萩原町中呂)

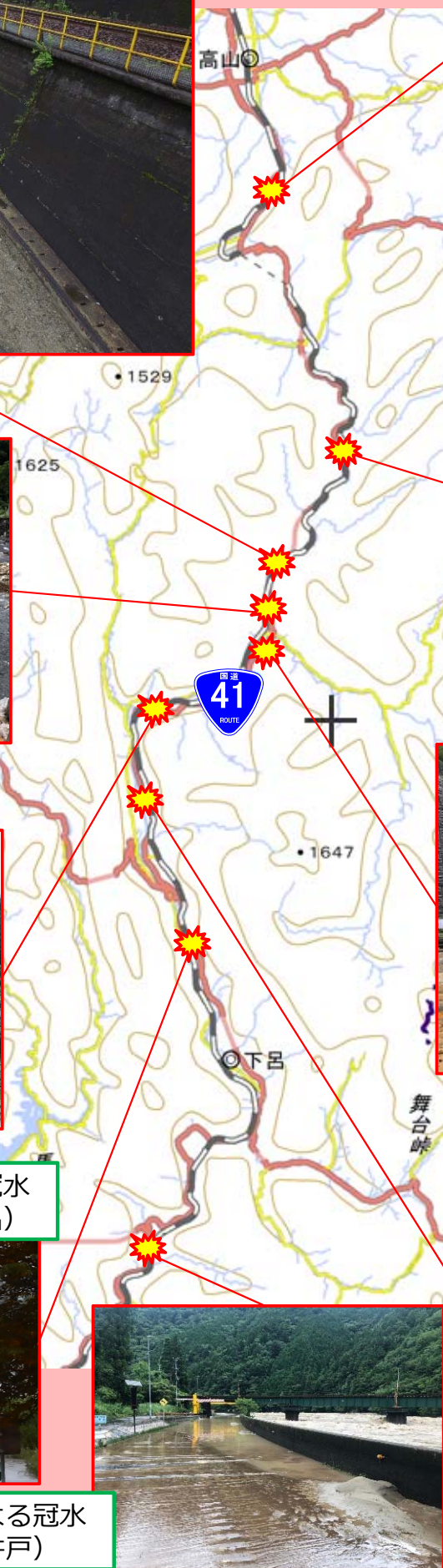


岐阜県下呂市萩原町中呂

飛騨川氾濫による冠水  
(下呂市保井戸)



土砂流入及び冠水  
(下呂市萩原町上呂)





鍬入れをする出席者

# 国道41号船津割石防災起工式を開催

9月26日（土）、前日までの雨も上がり金子衆議院議員を始め国会議員、県議会議員、飛騨市長、地元関係者の方々にご出席いただき、飛騨市神岡町地内にある船津パーキングにおいて「国道41号船津割石防災起工式」を開催しました。

今後は早期供用を目指し事業を進めてまいりますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。



堀田中部地方整備局長による式辞



会場内の様子



離隔に配慮した配席



参加者の体温を計測

新型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施



# 夜間の遮断機操作訓練を実施！

10月1日 中部縦貫道・高山国府バイパス



高山国道事務所では、夜間集中工事で通行止めを行っているタイミングに合わせて、飛騨三協防災対策協議会と合同で遮断機の操作訓練を実施しました。

手動式、伸縮式、ステンレスゲートの3種類の交通遮断機を実際に設置して、手元が見え辛いなど比較的条件が悪い夜間においても迅速に対応できるように操作手順を確認します。

実際に今年の7月豪雨では夜間に通行規制を行いました。近年の異常気象によって災害が増加している中で、少しでも被害が抑えられるよう、私達道路管理者には迅速で適切な対応がますます求められています。災害や事故等どのような状況にも迅速に対応できるように備えていきます。



編集・発行

中部地方整備局 高山国道事務所

〒506-0055 高山市上岡本町7丁目425番地

TEL (0577)36-3822 FAX (0577)36-3801

URL <https://www.cbr.mlit.go.jp/takayama/>

令和2年10月6日発行

担当：計画課